

news release

マニユライフ生命保険株式会社

マニユライフ生命 東京スター銀行にて 投資型年金保険「マニユプライムプラス」を販売開始

マニユライフ生命保険株式会社（代表執行役社長兼CEO クレイグ・プロムリー）は、運用成果を確保できる先進的な投資型年金保険の新商品「マニユプライムプラス」を開発し、2008年1月19日より株式会社東京スター銀行（代表執行役頭取 CEO タッド・バッジ）で販売を開始します。

この新しい投資型年金保険は、資産運用に取り組む機会がなかった多くのお客様の、分かり易く簡単な方法で運用に取り組みたい、というニーズにお応えし開発された投資型年金保険「びっくり箱」と同様のタイプの投資型年金保険であり、以下のような画期的な機能を有しています。

- 1) 資産運用の目標設定機能により、簡単に将来目指したい目標値を設定でき、その明確な目標に基づき、国際分散投資された特別勘定で積極的に資産を運用できる。
- 2) ご契約日の1年経過以後、設定した目標に到達した場合は自動的に運用成果が確保され、受け取ることができる。
- 3) 年金原資が最低保証され安心。

「マニユプライムプラス」の主要な特長は以下のとおりです。

◆ 資産運用の目標を立てることができます。国際分散投資された特別勘定で積極的に運用します。

ご契約時に、目標値（基本保険金額^{*1}に対する積立金額の割合）を設定できます。「世界バランス 75（株式 75%）」「世界バランス 50（株式 50%）」の2つの特別勘定からいずれかを選択し、積極的に運用できます。

◆ ご契約日から1年経過以後、目標に達した場合は運用成果を自動的に確保できます。

積立金額が目標値に達した場合、積立金額が目標値に到達したことをマニユライフ生命からご契約者様へ郵送でお知らせします。また、目標到達日の積立金額を責任準備金額として特別勘定から一般勘定に自動的に移行しますので、ご契約者様が悩んだりすることなく運用成果を確保できます。

◆ 運用期間満了後の年金原資として、基本保険金額の100%が最低保証されます。

仮に資産運用が不調で、目標値に到達しなかった場合でも、基本保険金額の100%が最低保証されます。（「世界バランス 75」を選択し運用期間を延長しない場合には、基本保険金額の90%が最低保証されます。）

*1 基本保険金額とは、死亡給付金等をお支払いする際に基準となる金額で、一時払保険料は基本保険金額と同額になります。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社(「マニユライフ生命」)は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、最高位の格付けである「AAA」を取得しています(2007年12月末現在)。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2007年9月30日現在3,990億カナダドル(4,005億米ドル)となっています。

マニユライフ・ファイナンシャルは、グループ会社がスタンダード&プアーズ社から最高位の格付けである「AAA」を、ムーディーズ社からは2番目に高い格付けである「Aa1」を取得している、北米の保険会社2社のうちの1社です。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ(www.manulife.com)をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。(www.manulife.co.jp)

東京スター銀行について

2001年6月創業。ファイナンシャル・フリーダム(=お金の心配からの解放)を企業理念に、お客さまが金融に関するあらゆる問題を気軽に相談することができる店舗(ファイナンシャル・ラウンジ)を展開しています。従来のようなコンサルティングサービスとは異なり、一方的に銀行側がご説明するのではなく、目標達成へ向けてお客さまとチームを組み、資産に関する解決を見出していく手法を取っております。法人部門も、ノンリコースローンや事業の証券化など、新しい金融手法で中堅中小企業のお客さまを支援しています。(http://www.tokyostarbank.co.jp/)

投資型年金保険(目標設定型)

ManuPrime Plus

マニュプライムプラス マニュライフ生命の変額個人年金保険(年金原資保証IV型)

投資型年金保険マニュプライムプラス(年金原資保証IV型)は、特別勘定の運用実績に基づいて、将来の年金額、解約返戻金額および死亡給付金額等が変動する生命保険商品です。

ご注意事項

⚠ 運用のリスクについて

マニュプライムプラス(変額個人年金保険(年金原資保証IV型))の資産は、特別勘定での運用期間中、主に投資信託を通じて国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が積立金額・将来の年金額等の増減につながります。このため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、積立金額および解約返戻金額、死亡給付金額、年金額等のお受け取りになる金額の合計額が払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。その有価証券の価格や為替の変動等に伴うリスクは、ご契約者に帰属します。

⚠ 本商品にかかる費用について

本商品にかかる費用の合計額は、下記、契約初期費用、保険関係費、運用関係費および年金管理費の合計額となります。

【契約初期費用(ご契約時)】

ご契約日よりご契約日を含めて**8日目末**に、一時払保険料の**5%**を契約初期費用として一時払保険料から控除し、控除後の金額を特別勘定に繰り入れます。

【保険関係費と運用関係費(特別勘定での運用期間中)】

特別勘定での運用期間中は、毎日、次の費用(各年率に1/365を乗じた金額)を積立金から控除します。

特別勘定名	世界バランス50	世界バランス75
保険関係費	特別勘定の資産総額に対し年率 2.55%	
運用関係費	特別勘定の投資対象となる投資信託の信託財産に対し(信託報酬*)	
	年率 0.294% (税抜:年率 0.28%)	年率 0.378% (税抜:年率 0.36%)

* 運用関係費のうち、信託報酬以外にかかる費用(信託事務の処理に要する費用、立替金の利息ならびに信託財産の財務諸表の監査に要する費用等)は、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

【年金管理費[年金(遺族年金を含む)支払期間中]】

年金額の**1%**を毎年の年金支払日に責任準備金から控除します。

⚠ 特にご注意いただきたい事項

- ①年金原資の最低保証(「世界バランス50」の場合は基本保険金額の100%、「世界バランス75」の場合は基本保険金額の90%)および死亡給付金の最低保証はマニュライフ生命が行います。ただし、**ご契約を解約した場合、解約返戻金には最低保証がありませんので、一時払保険料を下回ることがあります。**
- ②年金原資の最低保証は、「世界バランス50」と「世界バランス75」でお取り扱いが異なります。
- ③ご契約日から1年以内は、積立金額が目標値に到達しても運用成果を確保できません。

- ご契約の検討・申し込みに際しての重要な事項は、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」に記載しています。ご契約前に十分にお読みいただき、内容をご確認・ご了解のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。商品内容の詳細については、「商品パンフレット」「ご契約のしおり/約款」「特別勘定のしおり」にてご確認ください。
- 募集代理店の担当者は、お客さまとマニュライフ生命保険株式会社との保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。
- 当商品はクーリング・オフ(お申し込みの撤回・ご契約の解除)制度の対象です。

【募集代理店】
株式会社 東京スター銀行

【引受保険会社】
マニュライフ生命保険株式会社
本社/東京都調布市国領町4丁目34番地1
〒182-8621
変額年金カスタマーセンター/0120-925-008
ホームページ/ <http://www.manulife.co.jp/>